

男という存在の耐え 難しい軽さ

日本の格差について積極的に発言を続ける橋木先生がもう一つの社会問題について語る。「草食男子、肉食女子という言葉がある。女性に関心なく、かつ働くことにも意欲のない男性の増加である。この現象が続けば、男性不要社会になる。」「ヒントを猿などの類人猿に求めた。女性優位の社会の到来予想であり、昔の母系社会への復帰かもしれない。」



橋木俊詔氏

兵庫県出身。1973年ジョンズ・ホプキンス大学大学院博士課程修了。1979年京都大学経済研究所助教授、1986年京都大学経済研究所教授。2003年同大学院経済学研究科教授、2007年定年退任、名誉教授。2007年4月より同志社大学経済学部教授。2014-現在、京都女子大学客員教授。主な著書に『家計からみる日本経済』（2004年 第25回石橋湛山賞受賞）、『格差社会 何が問題なのか』、『東京大学 エリート養成機関の盛衰』、『日本の教育格差』、『京都三大学 京大・同志社・立命館-東大・早慶への対抗』、『新しい幸福論』、『21世紀日本の格差』

京都大学経済学部 同窓会

近畿支部主催

公開講演会

入場無料

3月2日（金）

19:00～20:30

（開場 18:30）

講演：橋木俊詔氏

京都女子大学現代社会学部客員教授

京都大学経済学部名誉教授

大阪ガス御堂筋東ビル（OMEビル）

3Fホール

地下鉄御堂筋線淀屋橋駅下車3分



■お申し込み：氏名、連絡先（E-Mail またはFax番号）、同伴者の氏名を記入のうえ、E-MailまたはFaxで下記事務局まで事前申し込みをしてください。 * 申込締切日：2月23日（金）

* 定員(100名)になり次第受付を締め切ります。

■お問い合わせ：京都大学経済学部同窓会近畿支部講演会事務局（大阪ガスビジネスクリエイト内）

E-Mail: ekyou-dosokinki@ogbc.co.jp Fax: 06-6446-4326

Tel: 06-6446-4320（土日祝日を除く平日10:00～17:30）